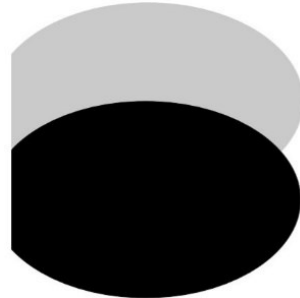


# 20220331

## 絵本学会 NEWS No.72

発行：絵本学会  
発行日：2022年3月31日  
編集：絵本学会広報委員会  
絵本学会事務局：〒100-0003  
東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル6F  
(株) 毎日学術フォーラム内  
電話：03-6267-4550  
Mail：maf-ehongakkai@mynavi.jp  
HP：http://www.ehongakkai.com



絵本学会

- ・第25回絵本学会大会（6月11日・12日）開催のお知らせ
- ・研究委員会「絵本研究会2021」開催報告
- ・研究委員会からのお知らせ
- ・「日本学術会議協力学術研究団体」登録後のお知らせ
- ・紀要編集委員会からのお知らせ
- ・第5回『日本絵本研究賞』等候補（2021）一次選考報告
- ・新入会員自己紹介
- ・関連学会からのお知らせ
- ・2021年度絵本学会第2回理事会議事録
- ・理事会メール審議議事録（9-11月）
- ・編集後記

### ■第25回 絵本学会大会（6月11日・12日）開催のお知らせ■

大会テーマ：共生の時代と絵本のゆくえ

#### ◆期日

2022年6月11日（土）・12日（日）

#### ◆会場

小田原短期大学

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

※オンライン開催のため、参加者（発表者も含む）の皆様会場へお集まりいただくことはありません。

#### ◆参加費

会員・準会員（院生など） 1000 円

一般 1500 円

学生 500 円

※1日の参加でも2日間の参加でも、費用は同じです。

#### ◆大会テーマ

「共生の時代と絵本のゆくえ」

新型コロナウイルスの蔓延や環境汚染、自然災害の頻発、国家間の感情的な対立や難民問題、貧富の差など、私たち人類は歴史上かつてなかったような地球規模の課題を抱えています。本大会では、そのような時代を見据えつつ、絵本を通して私たちにできることを考えてみたいと思います。

#### ◆プログラム

○第1日目 6月11日（土）

・13:00 ～ 開会式

挨拶「第25回絵本学会大会を迎えて」

藤本朝巳（絵本学会会長）

・13:10 ～ 基調講演 スージー・リー氏

（オンデマンド配信：11日に限りご覧いただけます）

・14:30 ～ 研究発表（A・B）

・16:00 ～ 総会

○第2日目 6月12日（日）

・10:00 ～ 絵本学会25周年記念企画

「葉祥明・絵本が育む心の世界」

（オンデマンド配信：19日までご覧いただけます）

・10:00 ～ 研究発表（C・D）

・13:00 ～ 作品発表

・14:30 ～ ラウンドテーブル

「長谷川義史+あおきひろえ 夫婦（めおと）トーク

ほほほ絵本」（ライブ配信：この時間限りです）

話題提供：長谷川義史（絵本作家）

あおきひろえ（絵本作家）

コーディネーター：尹恵貞（一橋大学大学院博士研究員）

赤羽尚美（小田原短期大学）

・16:00 ～ 閉会式（状況により時間が変わることがあります）

#### ◆お申し込み方法

下記URL からPeatix にアクセスし、お申し込みください。

<https://ehon25.peatix.com>

・申込締切り 5月22日（日）



※上記からお申し込みとお支払いが可能です。またお申し込みフォームには「総会の委任状」の項目もあります。

※詳細は同封の大会案内チラシをご覧ください。お申し込みの方には、後日、大会プログラムを配信いたします。

第25回絵本学会大会実行委員会事務局（お問い合わせ先）

メールアドレス：ehongakkai25@gmail.com

馬見塚 昭久（小田原短期大学）

## 研究委員会「絵本研究会2021」

### 開催報告

絵本研究会2021「『絵本画家 赤羽末吉 スーホの草原にかける虹』を語る」

\* 2021年12月18日(土)14:00~16:10

Zoom ウェビナーにて

\* 講師：赤羽茂乃さん

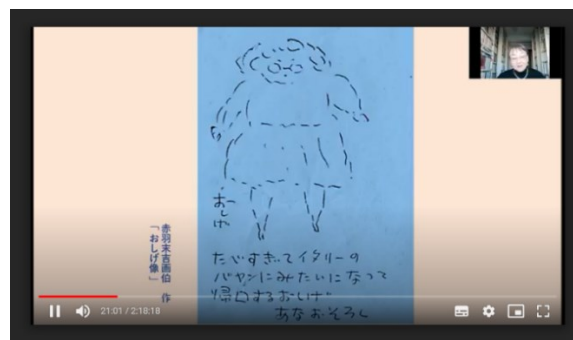


赤羽茂乃さん

研究委員会では2021年度からの3年間3名の委員（鈴木穂波研究委員長、赤羽尚美会員、山口恵子会員）で、会員が絵本研究を深める機会として、年度に1回絵本研究会を企画・運営していきます。初年度の今回はコロナ禍を鑑みてオンライン開催とし、第4回日本絵本研究賞特別賞を受賞された赤羽茂乃さんに、受賞作『絵本画家 赤羽末吉 スーホの草原にかける虹』（福音館書店、2020年4月）についてご講演いただきました。

オンラインによる日本絵本研究賞特別賞受賞のご挨拶の時に、赤羽茂乃さんのあたたかく快活なお人柄に触れることができました。あらためてぜひお話を伺う機会を作りたいという思いからご依頼申し上げたところ、講演活動にご多忙の中、快くお引き受けいただきました。

チラシの絵は、委員の同僚研究者で漫画家のイトウハジメさんが、茂乃さん（委員からはこう呼ばせていただいています）がモンゴルを旅された時のお写真からイメージをふくらませて描いてくださったものです。当日のZoomウェビナーの使用に関しては、委員の所属大学のご協力をいただきました。また、当日の運営に関しては、山本美希企画委員会委員長にもお手伝いいただきました。委員が直接顔を合わせる機会がないままのオンライン開催で不安もありましたが、こうしたさまざまな方面からのお力添えとチームワークで、無事本番を迎えることができました。



ご講演のスクリーンショットから

当日は、会員22名、会員外38名の計60名の方にご参加いただきました。2時間があつという間に感じられるような、濃密で心地よい時間でした。オンラインのため参加者の反応を直接見ることができなかったものの、アンケートからは熱量が伝わってきました。一部をご紹介します。

◆作品の魅力だけでなく、赤羽先生の魅力、お人柄の厚みをたいへんわかりやすくご教示いただけ、貴重な学びとなりました。語りが素敵で、あつという間に終わってしまいました。教員として本作品を指導する立場です。明日からも、作品に、著者に思いを馳せて、子どもたちに伝えていこうと思います。

◆赤羽先生が絵本に込めた強い思いを心に留めて、子どもたちに絵本を手渡していきたいと思いました。また茂乃さんのご家族ならではのお話がとても温かく、楽しかったです。小さい頃大好きだった赤羽先生の絵本を、これからも大切に読み継いでいきます。

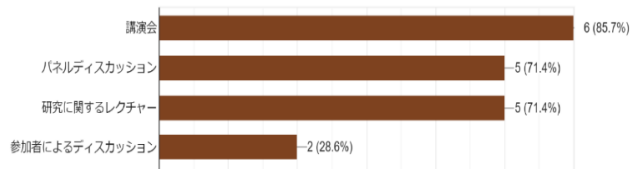
◆茂乃さんのお義父様への深い愛情を感じました。私も中国東北地方を訪れたことがあり、そこで様々な中国の方たちの思いを感じることもありました。実際に茂乃さんが、その場を訪れ、経験されたことをお話しいただいたことが非常に印象に残りました。

◆赤羽末吉さんの子どもの頃の経験や、中国での経験・体験について知ることができ、赤羽さんがより立体的になりました。その経験のすべてが、絵本に描かれていくのだとも感じました。私も目的のない丸ごとの体験を大切にしたいと思いますし、子どもたちにも体験してもらいたいと思います。

◆2時間通しでのご講演でしたが、どのお話も興味深く惹きつけられて、疲れも感じませんでした。また、しっかり作られた画面を出していただくことで資料をよく見ることができ、その意味でも大変充実したものでした。赤羽茂乃さんの今後の研究についても期待したいと思います。今回は会員以外にも参加の機会をいただき、ありがとうございました。

会員の方には、今後の絵本研究会についてもアンケートでご希望を伺いました。以下ご紹介させていただきます。

どのような研究会を希望されるか4項目をあげて複数回答可でお尋ねしたところ、以下のような結果でした。その他、学会大会とは別に大学院生等が研究発表できる場を希望するというお答えもありました。



開催方法の希望については、会場とオンラインでの同時開催が7割、オンライン開催が3割でした。「地方に住む者にとっては、オンライン開催の研究会はとても有難く思います。コロナ以前の生活を取り戻せることができたら、会場にも足を運びたいと思っています。」「地方に住む会員にも何らかの形で参加が可能となる研究会を希望します。詳しい内容報告もあってうれしいです。」といったご意見もいただきました。

まだ予断を許さない状況下において、どのように研究を深め、交流し合う場を持つことができるか、委員で今後も検討しながら、深い学びを得る場を作っていきたいと考えております。

今後の絵本研究会についてご要望等ございましたら、下記絵本学会研究委員会までメールにてお寄せください。

絵本学会研究委員会 ehongakkai.kenkyu@gmail.com

(文責：鈴木穂波)



絵本学会・絵本研究会2021チラシ

## 研究委員会からのお知らせ

### ◎2022年度研究助成応募申請要項について

2022年度研究助成についてお知らせいたします。学会員皆様の応募をお待ちしております。応募申請の手順等は以下の通りです。

#### ①応募資格

応募時に2022年度年会費納入済みの絵本学会会員であること。プロジェクト研究の場合、構成員全員が会員であること。

#### ②申請方法

絵本学会ホームページ掲載の「2022年度研究助成申請書」をダウンロードして入力し、メールタイトルに「研究助成応募申請」と明記の上、絵本学会研究委員会宛にメール添付にて申請してください。

#### ③募集の件数および助成金額

合計3件(1件につき5万円の助成)

#### ④応募期間

募集開始：2022年6月1日（水）

締め切り：2022年6月30日（木）必着

#### ⑤結果の通知

2022年7月末日までに研究委員会より研究（代表）者宛てに採否及び採否理由についてメールで通知します。なお、採択された場合、研究（代表）者の氏名、所属（職名）、研究テーマを公表します。

#### ⑥研究成果報告書の提出について

研究成果の報告書をA4サイズ1枚程度（書式、字数は自由）にまとめ、決算報告書を添付の上、研究委員会宛にメール添付にて提出してください。研究成果は、絵本学会大会や『絵本学』での公開を望みます。

#### 【問い合わせ・提出先】

絵本学会研究委員会 ehongakkai.kenkyu@gmail.com

### 絵本学会 2022年度研究助成 申請書

研究委員会

1. 研究・調査の種類	<input type="checkbox"/> 個人研究・調査 <input type="checkbox"/> プロジェクト研究・調査 <input type="checkbox"/> 学術研究以外の絵本に係る社会的活動の実践研究 <input type="checkbox"/> 出版や展示に関する補助	
2. 研究テーマ		
3. 研究(代表)者	フリガナ 氏名(所属)	
	電話/FAX番号	
	住所	
	メールアドレス	
4. 共同研究者 (研究構成員)	フリガナ 氏名(所属)	
	フリガナ 氏名(所属)	
	フリガナ 氏名(所属)	
5. 研究テーマの概要 (800字以内にとどめてください)	<small>研究テーマについて、実施時期、実施場所、実施回数・日数など明確な場合は記載してください。</small>	
6. 助成金の使途計画		
7. 研究成果の発表手段		

※欄の削除は行わないこと



(イラストレーション：曾子安)

## 「日本学術会議協力学術研究団体」 登録後のお知らせ

先のNEWSでもお知らせしましたように、絵本学会は同学術研究団体に登録されています。その後、日本学術会議から「実態調査」の依頼がありまして、1月に、その調査内容に回答しました。この調査は日本学術会議と参加学会の連携強化を図ることを目的に、毎年継続的に実施されています。

「日本学術会議」は、「公益財団法人日本学術協力財団」及び「国立研究開発法人科学技術振興機構」とともに、日本学術会議科学者委員会の審議結果を踏まえ、日本学術会議が指定する協力学術研究団体を対象として実態調査を実施しています。

回答しました情報は、学協会関係の各種施策の企画立案等に活用されるほか、一部をWEB 学会名鑑【仮称】から一般公開する予定とのことです。

絵本学会が登録した内容は、以下の手順で検索して確認することができます。

機関詳細 : 学会名鑑 (jst.go.jp) →

「機関詳細 : 学会名鑑 - 国立研究開発法人 科学技術振興機構」の右上の検索バーに「絵本学会」と打込んでクリックする。

なお今後、絵本学会では、まだ決定されていない著作物の「著作権帰属先」などを順次決定し、毎年更新していく予定です。

(会長：藤本 朝巳)

## 紀要編集委員会からのお知らせ

### 『絵本学』投稿規程改正と執筆要項改訂について

紀要編集委員会は2022年3月9日に理事会の承認を受け、研究紀要『絵本学』の投稿規程の改正と執筆要項の改訂を行いました。『絵本学』第25号(2023年3月刊行予定)の投稿より、新しい投稿規程と執筆要項が適用されますのでよろしくご了承ください。

#### 投稿規程改正の目的と主な改正点

投稿規程の改正は2008年以来であり、この間、学術研究とその公表のあり方が大きく変化し、絵本学をめぐる状況も多様化しています。また絵本学会は昨年、日本学術会議協力学術研究団体に指定され、『絵本学』が学術誌として果たす役割が今後、ますます重視されます。そこで、この度は下記の4点から投稿規程を見直し、改正を行いました。

#### 1. 投稿の種類

旧規程の投稿の種類では、絵本に関する活動紹介や文献紹介を行う「報告」を設けていましたが、これを「研究ノート」に集約し、資料調査や実践などの学術報告を指すものに改めました。また「研究ノート」は「研究論文」の中間報告としてまとめられたものも含まれます。このため新規における『絵本学』の投稿の種類は「研究論文」「研究ノート」「論説」の3種類です。

#### 2. 著作権

新規程では著作権に関する規定を新設し、『絵本学』の掲載論文等の著作権が執筆者に帰属することに加えて、執筆者が発行元の絵本学会に対し、発行および委託業者のもとでの印刷製本における複製権を再許諾付きで許諾することを明文化しました。

さらに論文等で他者の文章や図版、写真を引用掲載する際の著作権の処理の規定も加えました。文献などの引用文の出典明記はもちろんのことですが、特に絵本のテキストの引用や絵の画像掲載を行う場合は著作権の侵害に当たらないことに注意し、必ず事前に出版社と著作権者の承諾を得てください。

#### 3. 研究倫理

研究および投稿の基本姿勢として重要な研究倫理に関する規定を新設しました。高い倫理観のもとで基本的人権を尊重し、不正のない研究に常に努め、投稿していただきますようお願いいたします。

新規程では近年増えている人を対象とする研究倫理について特記しました。人を対象とする研究では研究対象者のプライバシーの保護を優先し、研究協力の承諾手続きと文中記載を徹底してください。絵本学会では今後、研究倫理規程の策定も行う予定です。

#### 4. 原稿の送付

『絵本学』の投稿では、これまで印刷原稿を4部郵送していただきましたが、新規程では郵送を廃止し、原稿データをメールに添付して送信していただく方法に改めました。また送付先も絵本学会事務局ではなく、紀要編集委員会の専用アドレスに直接提出していただくことに変更しました。このことにより原稿送付にかかる手間や時間が省かれ、紀要編集の方でも原稿の取り扱いがスムーズになります。なお会費納入の確認や受領通知はこれまで通り行われます。

紀要編集委員会のメールアドレスは、後述の投稿募集案内に記載しております。また学会ホームページからもご確認いただけます。

#### 執筆要項改訂の目的と主な改訂点

『絵本学』の投稿における執筆要領は、別に定める「執筆要項」に詳細を記しています。投稿規程の改正により執筆要項も改訂を行い、整合性を取ることを行いましたが、同時に執筆、査読、編集の各々の側面から全体を見直し、修正を行いました。下記は主な改訂点です。

1. 表紙の添付を廃止する。
2. 英文抄録の提出を掲載決定後のみとする。
3. 原稿に執筆者名や執筆者を特定できる情報を記さない。  
※『絵本学』では、これまでも紀要編集委員会で執筆者を匿名化し、査読を行っています。
4. 執筆者への進呈を3部とする。
5. 投稿原稿のメール送付の際に、メール本文に執筆者情報を記載する。
6. 投稿時は、原稿のPDFファイルをメール添付で提出し、掲載決定後はPDFファイルとWordファイルの両方の原稿データを提出する。

原稿の書式と分量は従来通りで、変更はありません。

以上のように、『絵本学』の新投稿規程と新執筆要項には、複数の変更点がありますので、ご投稿の前に両方を熟読していただきますよう、よろしく申し上げます。新投稿規程と新執筆要項は、絵本学会ホームページでもご参照いただけます。

#### (新) 研究紀要『絵本学』投稿規程

##### 1. 投稿資格

絵本学会会員および準会員で、当該年度8月31日までに会員資格を有していること。

##### 2. 投稿の種類

絵本に関する研究論文、研究ノート、論説で未発表のもの。

【研究論文】研究の視点や手法、理論展開および結論に独創性や説得力が高く認められるもの。

【研究ノート】研究の基礎データになる資料調査・実践など報告、あるいは理論構築の可能性が認められるもの。

【論説】学術的な論で、注目すべき研究・作品・作家・展覧会・活動を取り上げての評論など。

##### 3. 投稿原稿の採否

- 1) 査読に基づき、紀要編集委員会が採否を決定する。必要に応じて紀要編集委員の外に査読を依頼する。
- 2) 紀要編集委員会は執筆者に内容の修正を求める場合がある。
- 3) 採否の結果は当該年12月末までに執筆者に通知する。執筆者は採否の結果について説明を求められることができる。この場合、紀要編集委員会は申し出内容を精査の上、適正範囲内で回答する。

##### 4. 執筆要領

執筆は別に定める「執筆要項」(絵本学会ホームページに掲載)に則ること。

##### 5. 著作権

- 1) 『絵本学』に掲載される論文等の著作権は執筆者に帰属する。執筆者は掲載決定後、絵本学会に、著作権のうち複製権の行使を再許諾権付きで許諾するものとする。
- 2) 論文等に引用される文章、図版、写真等の著作権に関する事項はあらかじめ執筆者の責任において処理すること。

#### 6. 研究倫理

- 1) 研究は十分な倫理的配慮の上に行うこと。
- 2) 個人事例を取り上げる際には、個人情報や秘密を保護することに配慮する。研究対象者・保護者・所属長、研究協力者などから文書による承諾を得、論文等にその旨を記載する。

#### 7. 投稿締切日

当該年9月30日（必着）

#### 8. 刊行

当該年度内

#### 9. 原稿の送付

- 1) 原稿は電子データをメールに添付して送付する。
- 2) 原稿送付先：絵本学会紀要編集委員会（メールアドレスは別に指定）

規程の改廃は理事会の審議を経て決定される。

改正日 2022年3月9日

### （新）研究紀要『絵本学』執筆要項

執筆はこの要項に準拠すること。

#### 【基本事項】

1. 使用言語：日本語
2. 原稿体裁
  - 1) 投稿時には、抄録（和文）＋本文から構成する。図・写真・表などの図版がある場合は、本文の後に加える。必ず完成原稿であること。
  - 2) 掲載決定後、英文の抄録も提出すること。
  - 3) 原稿はA4版、横書き。
3. 抄録
  - 1) 和文抄録は400字以内、英文抄録は単語数にして約200語程度で記述する。
  - 2) 和文抄録には冒頭に原稿の種類（研究論文・研究ノート・論説のいずれかを記載）、タイトル（和文と英文）、キーワード3語を明記すること。これらは抄録の文字数に含めない。執筆者名は査読の際に伏せるため、記さないこと。

#### 4. 本文分量

- 1) 本文は2段組とし、1段につき文字数23字×行数44行で作成する。
- 2) 研究論文は原則として註・引用文献・参考文献を含めて、4～8頁（文字数にして7,000字～15,000字）。
- 3) 研究ノートは4～6頁（文字数にして7,000字～11,000字）。
- 4) 論説は4頁（文字数にして7,000字）以内。
- 5) 掲載決定後の原稿では、本文の前に原稿の種類、タイトル（和文と英文）、執筆者名（ローマ字表記も）、所属または職名、専門分野、キーワード、抄録（和文と英文）を記す。これらは本文分量に含めない。

#### 5. 図版（図・表・写真など）

- 1) モノクロを原則とする。カラー図版の場合、費用（実費）は執筆者の自己負担とする。
- 2) 図版は本文の後に頁を改めて配置し、本文中への挿入はしない。
- 3) 使用する図版数は限定しないが、研究論文・研究ノート・論説ともに本誌4頁以内とする。

#### 6. 査読における匿名性の確保

- 1) 執筆者名および所属機関名、またはそれらを特定できる情報を原稿に含めないこと。
- 2) 謝辞、研究助成資金等は記載しないこと。掲載決定後の記載は可。
- 3) 所属大学や所属組織等の研究倫理審査委員会の承認を受けたことを記載する場合は、大学名や組織名を伏せて「所属大学／所属組織の研究倫理審査委員会の承認を受けた」などと記載し、掲載決定後に名称を記す。

#### 7. 著者校正

原則1回のみ。入力ミスの訂正など最低限の校正とする。

#### 8. 進呈

執筆者には、掲載誌3部を無料進呈する。

#### 9. 抜刷

掲載が決定した段階で希望部数を受け付ける。30部、50部、100部単位で、費用（実費）は執筆者が負担する。

## 10. 原稿の提出方法

- 1) 投稿時は、抄録、本文、図版を1つのPDFファイルにまとめ、メールに添付し、紀要編集委員会に提出する。紀要編集委員会のメールアドレスは、絵本学会ホームページで確認すること。
- 2) メール本文に執筆者に関する以下の情報を明記する。共著の場合は共同執筆者の分も含める。
  - ①氏名（ふりがな付き）②所属または職業 ③専門分野
  - ④連絡先住所・電話番号・メールアドレス
- 3) 掲載決定後は、抄録、本文、図版のPDFファイルに加え、Wordファイルも提出する。図版原稿に画像がある場合は、原則として 300dpi 以上の高解像度の画像ファイルも別に提出すること。

### 【本文表記・表示】

1. 文章：原則として常用漢字を使用し、仮名づかいは現代かなづかいと新送り仮名に従い、常体とする。ただし、特別の事由があるときは、この限りではない。
2. 句読点：「、」および「。」とする。
3. 符号：論文名あるいは引用文の表示には「」を使用し、文中における書名、誌（紙）名の表示には『』を使用する。
4. 数字および欧文：半角文字を使用する。
5. 固有名詞：（特に外国語の場合）文中初出の人名は、必要に応じてフルネームをカナ書きし、その後に（）で、原綴りを付記する（ただし、ミドルネームの頭文字は原語のままとする）。官公庁、研究機関については、原綴りを補記する。
6. 見出し：本文中の見出し（章、節、項など）は左揃えを原則とする。
7. 註・引用文献：註は該当用語または該当センテンスの右肩に番号のみを表記し、本文の後ろに一括して番号順に記載する。他の文献などから引用する場合は、出典を明示するものとする。引用は公正な慣行に合致し、かつ引用の目的上正当な範囲に限ること。

8. 参考文献：註・引用文献の後に一括して記載する。註・引用文献と同じものがある場合には、参考文献に記載しない。

## 9. 書誌記載法

原則として、以下の内容を、以下の順序で記載する。

- 1) 図書：著者名「論文名または章立てなどの見出し」『書名』（シリーズ名などがあれば記載）出版社名、発行年、頁
- 2) 紀要・雑誌・新聞：著者名「記事（論文）名」『掲載誌名』○巻○号、発行年（月日）、頁
- 3) 翻訳書・記事：原著者名、翻訳者名「記事（論文）名」または『書名』（シリーズ名などがあれば記載）出版社名、発行年（月日）、頁

### 【図版表示】

1. 図版（図・写真・表など）に通し番号をつけ、本文の後に頁を改めて配置する。1頁の左右上下の余白を十分にとること。
2. 本文中で図版の説明をする際、対応する図版を明示する。示し方は、図（写真も含む）と表を区分して、（図1）、（表1）のように表し、該当用語または該当センテンス末に記載する。
3. 図版には必要に応じてキャプションを記す。図版の出典、クレジットなどを示す必要のある場合には、キャプションの末尾に記す。
4. 図版の著作権上の掲載許可については、執筆者自身が自らの責任において事前に適正に行い、その旨を記載すること。

### 付記

1. 字句の表記、図版掲載およびレイアウトなどについて紀要編集委員会から相談する場合がある。
2. 英文タイトルと英文抄録については、ネイティブチェックを済ませること。
3. この要項に記されていない事項については、紀要編集委員会が判断する。

2022年3月9日改訂



## 第5回『日本絵本研究賞』等候補 (2021)：一次選考報告

### 『絵本学』第25号投稿募集案内

『絵本学』第25号（2023年3月刊行予定）の投稿を募集します。

今号よりメールでの電子投稿に変わります。前掲の投稿規程と執筆要項を十分お読みの上、ご投稿ください。

投稿締切日：2022年9月30日（必着）  
原稿送付先：絵本学会紀要編集委員会  
ehongaku.kiyo@gmail.com

投稿に関するお問い合わせは上記アドレスの紀要編集委員会までお願いします。

（紀要編集委員長：長野麻子）



（イラストレーション：山田白百合）

#### ◎選考の経緯

「日本絵本研究賞」は、絵本学会創立20周年を記念して絵本研究や評論活動のさらなる活性化を図る目的で創設されました。年次開催の運営委員会による一次選考をもとに、3年に一度開催される選考委員会によって最終選考が行われ、入賞発表及び表彰が行われます。

2021年は第5回日本絵本研究賞選考の1年次目となり、2020年10月1日～2021年9月30日の期間に発表された論文、評論、報告の中から一次選考が行われました。特別賞は、上記期間に発表された著書を対象としたものです。

受付期間内には、「研究賞」へ4点、「特別賞」へ3点がノミネートされました。一次選考の最終選考会は、2022年2月27日（日）にリモート会議（Google Meet）によって行われ、合議の結果、委員全員の一致で第5回日本絵本研究賞候補（2021）計5点が決定し、理事会において承認されました。

尚、第5回目の研究賞運営委員は、「日本絵本研究賞規則第3条」によって選出された以下の方々です。

鈴木穂波、永田桂子、長野麻子、水島尚喜、森覚（アイウエオ順／敬称略）

#### ◎選考理由

何れも、賞候補として相応しい質を備えた研究内容でした。それらの概要と委員会で提出された批評の概略は、以下の通りです。

#### 論文対象「日本絵本研究賞」候補

○2021年次研究優秀賞

【タイトル】「日常感覚を異化する絵本：安野光雅とヨシタケシンスケ」

【執筆者名】目黒 強

【出典等】『ユリイカ：詩と批評』53巻7号臨時増刊号（通巻775号）「総特集 安野光雅 1926-2020」2021.7 pp.361-367

【選考理由等】

安野光雅を総特集した雑誌への寄稿文である。安野光雅とヨシタケシンスケの絵本の手法を、「日常感覚の異化」という観点から、双方の特徴を分かりやすく綿密に紐解いていく。その中では双方のアプローチの同質性と異質性が示されていて、主張点が明確。両者への言及は他論考等でも見受けられるが、尚且つ安野への的確なオマージュとなっている点は特筆に値する。安野という絵本の一時代を切り拓いたパイオニアが、現代のヨシタケへ引き継がれている構図が鮮明に見え、絵本研究の新たな視点を提示している。

○2021年次研究優秀賞

【タイトル】『こどものせかい』に見る子どものイエスの象徴：はじめの2作品を中心に-

【執筆者名】 山口 恵子

【出典等】『絵本学：絵本学会研究紀要』23号 2021

【選考理由等】

本論文は、カトリック保育絵本『こどものせかい』における「子ども時代のキリスト」が描かれた2作品を通して、編集者であった武市八十雄の意図を解題し、社会的・思想的背景などを浮上させている。そこには、キリスト教の教育普及という文脈だけでなく、現代日本の家族観、教育理念や子ども観といったものの反映であることを明らかにしようとする意図が見える。「同時代のイデオロギーを呼びかける役割を果たしている（8頁）」という指摘は貴重であると評価された。ただし、表象の読み取りや図像学的観点において、もう一步進めて欲しかった感があり、絵本論としてややもの足りない部分もあるとの指摘もあった。

書籍対象「日本絵本研究賞特別賞」候補

○2021年次特別賞研究優秀賞

【タイトル】沖縄児童文学の水脈

【執筆者名】 齋木 喜美子

【出版社】 関西学院大学出版会

【選考理由等】

本書は、これまで学術的な研究成果の蓄積が乏しかった沖縄児童文学の実態と系譜を明らかにした点に大きな学術的意義を持っている。内容的にも、通史的な観点から、一步進めて個別の作家の思想形成の過程や作品分析について踏み込んで研究している点が、高く評価された。ただし本書は第45回日本児童文学学会賞を受賞している点や、児童文学研究の一部として絵本論が扱われている等の指摘があり、日本絵本研究賞特別賞の枠組みで扱ってよいか議論されたが、膨大な情報量と綿密な考察は非常に優れたものであるとして、他とは一線を画しているとの判断がなされた。

○2021年次特別賞優研究秀賞次点

【タイトル】いわさきちひろと戦後日本の母親像：画業の全貌とイメージの形成

【執筆者名】 宮下 美砂子

【出版社】 世織書房

【選考理由等】

絵本作家いわさきちひろの画業を、戦後の高度経済成長期にかけて「母親像」が形成されていく過程やその背景を踏まえうえて、綿密に考察している。リサーチクエスションである「日本社会における母性という概念が内包している問題点を浮かび上がらせること（5頁）」に関し、ジェンダー不均衡な状況を理由に挙げつつ、丁寧な調査と豊富な資料に基づき、その背後を浮上させようとする点が評価された。ただし、これら一連のジェンダー的観点や、「母親」を巡る社会やイメージの変化から捉えるというアプローチは、この作家を評価するうえで、これまでも度々用いられてきており、それらを止揚的に受け止めることも必要ではないかという意見もあった。

○2021年次特別賞優秀研究賞次点

【タイトル】絵本の読みあい：女性受刑者とわが子をつなぐ

【執筆者名】 村中 李衣（編著）、中島 学（著）

【出版社】 かもがわ出版

【選考理由等】

著者が続けてきた「読みあい」実践の集大成ともいえるものである。日本初の官民協働刑務所での矯正プログラムの一つ「絆プログラム」の概要、意義と課題が熱意だけでなく客観性も持ちながら丁寧に述べられている。さらに、12年間の実践記録とコロナ禍での2020年の記録で、一人一人の参加者の姿や思いを細やかに浮き彫りにしている。絵本が社会においてどのような役割を果たしていくのかということに主観と客観の絶妙なバランスをもって迫っている。優れた実践報告書として高く評価できる反面、その理論化や一般化への道筋については、やや不透明という指摘もあった。

（文責：研究賞運営委員会委員長 水島尚喜）

## 新入会員自己紹介

### 藤田篤（木のおもちゃと絵本のカルテット オーナー）

この度、絵本学会に加えて頂きました藤田篤と申します。絵本とおもちゃの普及を志し2004年から専門店の運営をしております。仕事を通じての、保育現場や各家庭での実践経験を基に2014年「日本知育玩具協会」を設立、児童精神科医 故 佐々木正美先生講座監修の下で認定講座を開講、講師の育成を通じて絵本とおもちゃの普及に取り組んでおります。現在は主宰する「カルテット幼児教室」（東京大学名誉教授汐見稔幸先生監修）や、保育園内研修などを通じて日々子どもたちを前に絵本を読む機会を頂き、その奥深さを学ばせて頂いております。知育玩具についての研究は、保育学会などで発表してまいりました。絵本学会で絵本の実践、研究から学ばせて頂き専門性を高め、絵本に真摯に向き合っていきたいと考えております。著作「子育てを感動にするおもちゃと絵本」。どうぞよろしくお願いいたします。

### 栗崎朋子（産業カウンセラー、女性学修士、絵本セラピスト）

初めまして。この度絵本学会に入会しました栗崎朋子と申します。

私と絵本との関わりは、心理カウンセラーの職を退いた後、いままで勉強したり、経験したりしてきたことが活かせないかと思ひ、絵本セラピストという資格をとったことが始まりです。残念ながら絵本セラピストとしては経験を活かす方法を見つけることはできませんでしたが、絵本を社会学や女性学という視点で読むことに興味を感じるようになり、それにつれて子どもたちに絵本を通じてジェンダーバイアスを植えつけたくないと思うようになりました。そのためには何をしたらいいのか、まだ入り口に立ったばかりで思案中です。絵本学会の中には、女性学、ジェンダーといった視点で絵本を読むことに興味をお持ちの方もいらっしゃるかもしれないと思ひ、お仲間に出会えることを期待して入会いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

### 深山さくら（絵本と童話の作家）

はじめまして。文章作家の深山さくら（みやまさくら）と申します。山形県上市生まれ。東京に住み母となり、三人の子を代わる代わる膝に乗せ、それぞれが選んだ絵本や童話を読み聞かせているうちに、自分でも書きたくなったのが始まりです。

山形に「ものがたり工房」を構え、こどもの心にほのぼの色の花を咲かせたいと東京との二拠点で活動中。子どもたちの背中をそっと押すような物語を書いていきたいです。

著書に『でんしゃとしょかん』（はせがわかこさん絵・文研出版）、『かかしのじいさん』『こすずめとゆき』（共に黒井健さん絵・佼成出版社）、『てんぐのそばまんじゅう』（長谷川義史さん絵・チャイルド本社）など。『かえるのじいさまとあめんぼおはな』（松成真理子さん絵・教育画劇）で第19回ひろすけ童話賞受賞。（一社）日本児童文芸家協会理事。オフィシャルサイトは<https://miyamasakura.com>

### 小山このか（東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻 学生）

はじめまして、この度、絵本学会に入会させて頂きました小山このかと申します。

専門は芸術学で、「マイノリティ当事者と社会変革を目指す表現描写」について研究をしております。

事例としては、「『のはらひめ おひめさま城のひみつ』におけるフェミニズム」、「『バーバパパシリーズ』における社会問題」、「『みえるとかみえないとか』における障がい者の捉え方」に着目しています。

また、学部時代は東京藝術大学に所属していたため、美術作家としての活動もしています。趣味の域ですが、絵本も創作しています。

私自身、幼少期に絵本を沢山読み、影響されてきました。そして現在、1歳の息子に絵本を読み聞かせる毎日です。子供達に社会的マイノリティの存在を伝え、問いを持ってもらうには、どうすれば良いのか。今後絵本を通して、子供達の可能性とどう向き合うべきかを、絵本学会での交流を通し、更に考えていければと思います。ぜひ宜しくお願い致します。

### 松村薫子（大阪大学 准教授）

このたび、絵本学会に入会いたしました松村薫子と申します。専門は日本民俗学で、民間信仰や妖怪文化についての研究を行っています。近年、妖怪や怪異が描かれた絵本の魅力に引き寄せられ、絵本からみえる日本人の妖怪観を研究しています。日本の絵本を考察する中で、様々な国の妖怪絵本との比較研究も行ってみたいという思いが芽生え、様々な国の妖怪絵本を収集しながら比較研究も行っております。

また、絵本は、留学生教育を行う際にも教育上の効果が高く、教材として非常に適したものであると思ひます。絵本は、日本語学習を行う留学生にわかりやすい文と日本人の生活の様子がわかる絵がついており、日本文化の理解がしやすいものであると思ひます。将来的に絵本を留学生教育に活かしたいと思ひ、日々その方法を考えております。これから絵本学会でいろいろ学ばせて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### 岸田容子（J P I C読書アドバイザー）

はじめまして、この度絵本学会に入会致しました岸田容子と申します。私は元保育士で、長年地域の読み聞かせボランティアとして活動をして参りました。市立幼稚園・小学校、公共図書館、子育てサークルなどを中心に開催回数が年90回を超える中、ご縁を頂いて大学で「読みみかせの実践」の授業を担当させて頂くまでになりました。

ところが、コロナウィルス感染防止の観点から、全ての活動を自粛せざるを得なくなったのです。空き時間を得たことを機に、絵本について学びを深めるべく、絵本研究に勤むようになりました。これまでは“活動に向けて”という視点に立っていた為、手に取る作品が偏っておりました。真摯に絵本と向き合い、広く絵本に関する論文を読み、知らなかった事実に触れる等有意義な時間を過ごしています。人前で絵本を読む者として見識を深め、保育者育成・後進指導の一翼を担うべく研鑽に努めたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

### 新井佑季（立命館大学文学部 学生）

この度、絵本学会に入会させていただきました新井佑季と申します。現在、立命館大学の文学研究科文化動態学専修に所属しており、主にインディペンデント系のアニメーション作品を専門に研究しております。

絵本は物心ついた時から常に側にあり、大学院で研究対象とするアニメーションと同じくらい大きな関心を抱いております。毎年のサンタさんからのプレゼントは決まって絵本で、幼少期に触れた絵本の存在はいつまでも大きいものです。アニメーションと絵本との関連も非常に強く、絵本が原作のアニメーション作品やアニメーション作品の制作に伴って創作される絵本も多くあります。絵本とアニメーションそれぞれが持つ違った力を感じながらも、私の関心分野を繋げた研究を今後していきたいと思っております。

絵本学会ではより深い学びを得たいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

### 増田穂里（荒川区学校司書 絵本専門士）

この度、絵本学会に入会させていただきました増田穂里と申します。荒川区内の小学校で、学校司書をしております。小学校での読み聞かせがきっかけで、学校図書館に興味を持ち学校司書になりました。日々の支援の中で、自分の心が一番落ち着く時間が、読み聞かせと絵本を手にする書架の整理の時間であ

ることに気づき、絵本の魅力をもっと知り、伝えたいと考えるようになりました。第5期絵本専門士養成講座で学ぶ機会を得て、専門的知識と共に、ご講義くださる先生方や共に学ぶ仲間から、自分の目線だけでは考えも及ばなかった絵本の可能性も教えていただきました。これから、世代を超え、多くの方に絵本の魅力を伝えていくために、広く門を開いてくださっている絵本学会で、より深く「絵本の力」を学びたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



（イラストレーション：太田僚子）

## 関連学会からのお知らせ

### 日本児童文学学会創立60周年記念論文の募集について

日本児童文学学会は、1962年に設立された「児童文学・児童文化」の研究促進を目的とした研究者団体です。

このたび、2022年に日本児童文学学会が創立60周年を迎えるにあたり、記念論文を募集することとなりました。

近年では、子どもをとりまく文化状況がきわめて多様化・複雑化し、研究そのものも多様な展開をしています。こうした今日の研究状況を反映した、斬新で独自性のある論文が多数応募されますことを期待しております。ぜひとも奮ってご応募ください。

#### 《目的》

日本児童文学学会創立60周年を記念し、児童文学・児童文化研究に大きな飛躍と前進をもたらすような斬新な論文を募集する。

#### 《内容》

児童文学・児童文化に関するもので、内容は自由。

#### 《応募資格》

応募資格は問わない。

#### 《原稿》

1. 40字×30行を1頁として17頁以内(注および参考文献等を含む)とする。

なお写真や図版は、10行分に換算する。

2. 応募原稿はパソコン(ワープロ)で作成し、先頭から10行分をタイトル・スペースとすること。タイトル・スペースには論文タイトルのみを記し、応募者氏名は、論文題目・連絡先(住所・電話番号・Eメールアドレス)とともに別紙に記して、論文原稿に添えること。

3. 応募原稿は、プリントアウトしたものを5部送付すること。なお入選者には、後日、電子データの提出を求めることとする。

4. 応募原稿は、未発表の学術論文(紀要・同人誌・ホームページなどに公表されたものは不可)とする。

5. 論文は日本語によるものとする。外国語の引用には日本語による訳または大意を添えること。この場合、日本語による訳・大意の部分は規定枚数に数えなくてよい。

縦書き・横書きは自由、注は後注とする。

#### 《入選》

・入選1編 賞金30万円・佳作3編 賞金各5万円

審査の結果は、2022年度の日本児童文学学会研究大会にて発表する。また入選・佳作となった論文は、『児童文学研究』55号に掲載の予定。

#### 《審査委員》 大橋崇行・川勝泰介・佐藤宗子

・武藤清吾・横川寿美子(50音順)

#### 《締切》 2022年6月30日(木)必着。

#### 《送付先》

論文応募者の連絡先(郵便番号・住所・電話番号・Eメールアドレス)を記入の上、レターパックにて日本児童文学学会事務局までご送付ください。

#### 送付先

〒400-8555 山梨県甲府市横根町888番地

山梨英和大学 井上征剛研究室気付

日本児童文学学会事務局

電話 055-223-6020(代)

## 寄贈図書

・日本児童文学学会北海道支部『北海道の児童文学・文化史』(共同文化社、2022.2)

寄贈者：日本児童文学学会北海道支部

# 2021年度絵本学会第2回理事会 議事録

日時：2021年9月18日（土）14：00～18:00

於：オンライン

出席：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長） 甲木善久 鈴木穂波

長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜 宮崎詞美

山本美希

水島理事、甲木理事、鈴木理事は都合により中途退出

記録：丸尾

## 議事次第

前回2021年度第1回絵本学会理事会議事録およびメール審議議事録の確認メール審議に研究委員会起案の1件を追加のうで承認された。

## ◆報告事項

### 1 第23・24回絵本学会大会報告（松本大会実行委員長）

松本大会実行委員長から書面で報告が提出された。初めてのオンライン開催となった大会の経験を来年度の絵本学会大会の参考にしたい。

### 2 各委員会報告

#### ①企画委員会

2021年度絵本フォーラムについて：

2022年2月2～16日の期間限定で動画配信による絵本フォーラムを行う。

タイトル：コロナと絵本。ゲスト：いりやまさとしさん、山縣綾さん、佐古奈々花さん。

今後、チラシ等を作成し、次回NEWSで広報する予定。

#### ②紀要編集委員会

研究紀要『絵本学』第24号の刊行について：

1) 『絵本学』刊行スケジュールの決定。

2) 依頼原稿執筆者（絵本研究参考文献目録、絵本原画展・絵本画家展リスト）に3年間の執筆を委嘱した。

3) 仕様と印刷業社の選定：相見積もりを取ったうえでヨシミ工産に決定した。

4) フォントとレイアウトの見直し：バリアフリーの視点からフォントなどの見直しを検討中。

5) その他：今年度の投稿論文の査読を経て、投稿規定・執筆要領を見直し、必要に応じて改正を検討する。

#### ③機関誌編集委員会

編集会議での協議内容が報告された。

『絵本BOOKEND』創刊号の理念に立ち返り、学会員と一般読者の興味に応えられるように内容を再検討する。発行部数やレイアウトも見直しを行う予定。次号のテーマ、特集を企画中である。

#### ④研究委員会

2021年度絵本研究会について：

絵本学会・絵本研究会2021「『絵本画家 赤羽末吉 スーホの草原にかける虹』を語る」（2021年12月18日開催）の参加申し込み者へのメール案、スケジュール、担当者の報告がなされた。

#### ⑤広報委員会

絵本学会『NEWS』71号（11月30日発行）について：

原稿締め切り（10月31日）と企画案の提示がなされた。

#### ⑥日本絵本研究賞運営委員会 特になし。

### 3 日本学術会議協力学術研究団体への登録について

7月半ばに申請してある。2021年9月16日に団体に問合せをしたところ、係のほうでは手続きを終え、ただいま担当の先生方が審査中で、もうしばらく時間をいただきたい、との返答であった。

### 4 事務局より

・委員の委嘱状について：

各委員会の理事以外の委嘱委員については、藤本会長が委嘱状を作成し、事務局からメールで送った。

・入退会について：

前回承認（2021.9.1メール審議）いただいた6名について4名が手続き終了。6月以降21名が申し込み。19名が手続きを終了し正規の会員となった。

退会：荒川薫（2019年度末をもって退会とする）

・事務局業務委託について：

6月30日付で毎日学術フォーラムと正式に業務委託契約書を交わし、7月に事務の引き継ぎを行った。8月の発送は無事終了した。今のところ、細かく打合せをしながら業務を進めている。

## ◆審議事項

### 1 各委員会

#### ①企画委員会 特になし

#### ②紀要編集委員会

研究紀要『絵本学』掲載論文の機関リポジトリへの登録申請への対応について：

本年4月にある大学図書館から申請があり、紀要編集委員会から対応案が提示された。著作権の帰属に関してなど、今後協議を深める必要があるため継続審議となった。

#### ③機関誌編集委員会

判型の変更について：

委員会での協議により、読み物を充実する目的で『絵本BOOKEND』の判型を創刊当時のA5判にもどすことが提議された。審議のうえ現在の判型を生かして内容を充実する方向で再検討することとなった。

#### ④研究委員会

研究助成について：

『絵本学会NEWS』71号に掲載予定の2021年度研究助成審議報告書の文案について審議し、一部修正のうえ承認された。来年度の研究助成応募申請要項の変更案は継続審議となった。

#### ⑤広報委員会

・『絵本学会NEWS』用のイラストおよび謝金について：

これまでの例にならって対応することにする。

・広報委員会独自企画：アンケート調査に基づくランキングについて：

NEWSの独自企画について承認された。今後、アンケートの採り方など計画を詰めていく予定。

#### ⑥日本絵本研究賞運営委員会 特になし

### 2 2022年度絵本学会大会について

・大会期日：2022年6月11（土）、12（日）

2日開催にするか、1日にするかを協議し、2日開催となった。

・テーマ：共生の時代と絵本のゆくえ

・オンライン開催とする。

オンライン開催にあたっては、業者委託も考えていくが、まず大学のwi-fi環境の確認を行う

・参加費：徴収するかどうか、今後実行委員会できよく話し合っていく。

・大会実行委員会：馬見塚昭久理事（小田原短期大学）。同校の先生方からも協力が得られる予定。宮崎理事も実行委員会に参加する。

### 3 その他

教員公募の会員への周知依頼については、可能な範囲で対応していくこととした。

・次回（第3回）の予定

現時点で以下のように予定をし、近くなった時点で再度日程の調整を行うこととする。

第3回 2021年12月19日（日）頃 14：00～ 於：オンライン

## 理事会メール審議議事録 (9-11月)

2021年理事会 第6回メール審議議事録

日時：2021年10月3日（日）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）  
佐々木由美子（事務局長） 甲木善久 鈴木穂波  
長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜 宮崎詞美  
山本美希

### ◆審議事項

#### 1.新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：正会員 植田真澄 Cheetham, Dominic  
深山さくら 辻本美保 河合優利佳  
増田穂里 栗崎朋子 7名  
準会員a 新井佑季 1名

2021年理事会 第7回メール審議議事録

日時：2021年11月1日（月）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）  
佐々木由美子（事務局長） 甲木善久 鈴木穂波  
長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜 宮崎詞美  
山本美希

### ◆審議事項

#### 1.新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：正会員 吉村真理子 岸田容子 永村謙司 3名  
準会員b 小山このか 1名

2021年理事会 第8回メール審議議事録

日時：2021年12月1日（水）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）  
佐々木由美子（事務局長） 甲木善久 鈴木穂波  
長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜 宮崎詞美  
山本美希

### ◆審議事項

#### 1.新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：正会員 白凜 小倉直子 2名

#### 2. 退会者

山森貴子（2021年度末をもって退会）1名

## 編集後記

・冒頭の記事でご案内しました通り、第25回絵本学会大会が近づいてまいりました。今回、なぜか広報委員は全員、大会実行委員を兼ねており、目下、準備に奔走しております。（実は、私から就任をお願いしました。委員の方々には本当に感謝しております！）皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

（馬見塚昭久）

・毎日のあり様が大きく変化して3度目の春です。この状況下で考えたこと得たことは、新しい可能性を開いていくと感じています。

今年の学会大会もオンライン開催となりました。大会の開催とNEWSの発行が、遠方でなかなかお会いできない方々ともコミュニケーションできる機会の一助となることを願っております。今号もご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

（宮崎詞美）

・春爛漫には程遠い雪の中で編集を終えました。広報委員会企画『春に贈る一冊の絵本』については残念ながら応募がございました。再度、みなさまに応募していただきやすい企画を広報委員会で再検討中です。お楽しみにお待ちください。

（松本由美）

・チェコに住んでいる友人がやっと帰国でき、先日会うことができました。オンラインで話したりもしていましたが、直接会えるのはやはり何よりの喜びでした。そんな喜びが伝えられるNEWSでありたいと思います。

（尹恵貞）



